Ⅲ　組立てを考えて話す力を育てる指導計画

1　単元名　21世紀につなぐ夢

2　単元の目標

自分の意図が相手によく分かるように組立てを工夫しながら話すことができる。

3　指導計画及び教材提示の工夫

第１時　河合純一氏※1の本やビデオにふれ、自分の将来の夢について考える。

工夫①　話すことの学習に対する意欲を高める教材提示の工夫。（サイコロの目によって対話の話題を決める。）

工夫②　スピーチの内容について考えを深める教材提示の工夫。（河合純一氏のビデオを視聴させ著書の紹介をする。）

第２時　スピーチも構成が大切であることに気付き、スピーチメモを書く。

工夫③　構成が大切であることを意識付ける教材提示の工夫。（５　指導過程参照）

工夫④　個に応じた支援の工夫。（３種類のスピーチメモの用紙を準備する。）

第３時　スピーチの練習をし、録音する。

第４時　スピーチを聞き合い、よいところを見付ける。

工夫⑤　効果的な相互評価のための教材提示の工夫（パソコンを使って録音し、ファイルに児童の氏名をつけて提示する。）

4　本時の目標　第２時

意図が相手に伝わりやすくなるための構成を工夫することが大切であることに気付き、スピーチメモを書くことができる。

※１　全盲でありながら、パラリンピックの競泳で金メダルを獲得するだけでなく、少年のころからのもう一つの夢であった普通中学校の教師になることも実現した。著書に「夢　おいかけて」（ひくまの出版）がある。

5　指導過程　第２時

段階	学 習 活 動 ・ 内 容	時間	教 師 の 支 援　評　価
導入	1　本時のめあてをつかむ。 スピーチの組立てを考えよう。	5	◦　組立てを考えて話すことの大切さに気付かせるために、１つのスピーチを３分割して、スキャントーク※2のカードにしたものを提示する。 ※２　オリンパス光学工業株式会社の、音声を紙に音声情報（スキャントークコード）として印刷し、スキャントークリーダーで再生するシステム
展開	2　話の順序を考える。 工夫③　構成が大切であることを意識付ける教材提示の工夫	15	◦　３枚のカードをスキャントークリーダーで再生しながら、小グループ（６グループ）で話し合い、伝わりやすいスピーチになるように並べ替えるように提示する。 ◦　伝わりやすいと考える組立てだけでなく、理由も発表させる。 ◦　全体の構成や各部分の関係に着目した発言を称賛する。